



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 寺崎電気産業株式会社  
 コード番号 6637 URL <http://www.terasaki.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺崎 泰造

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室室長 (氏名) 周藤 忠

TEL 06-6791-2701

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,902	2.3	619	425.7	804	54.3	550	26.8
2019年3月期第2四半期	16,521	4.6	117	84.8	521	35.8	752	23.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 458百万円 ( %) 2019年3月期第2四半期 724百万円 ( 47.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	42.29	
2019年3月期第2四半期	57.79	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	44,204	29,429	66.5	2,255.99
2019年3月期	44,749	30,071	67.1	2,305.18

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 29,393百万円 2019年3月期 30,034百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		14.00	14.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,780	4.2	2,170	61.6	2,270	18.0	1,610	23.1	123.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	13,030,000 株	2019年3月期	13,030,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,021 株	2019年3月期	1,021 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	13,028,979 株	2019年3月期2Q	13,028,979 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2019年12月2日(月)以降に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、総じて成長が減速基調となりました。米国では、通商政策の影響から輸出や設備投資が弱含みとなるも、堅調な雇用と所得が個人消費を下支えしたことにより成長が持続しました。欧州では、消費や所得環境が底堅く推移しているものの、輸出・生産の減速などから景気は足踏みとなりました。英国も、EU離脱に向けた先行き不透明感の影響もあり低成長が続きました。中国では、内需や輸出を中心として緩やかに減速傾向が見られました。その他の新興国についても、成長が鈍化しました。一方、わが国経済は、良好な雇用・所得情勢が個人消費を下支えしたことから、景気に足踏み感があるものの、底堅く推移しました。

当社グループをとりまく経済環境は、国内において、合理化や省力化、設備更新などを目的とした設備投資に加え、デジタル化に向けた非製造業による設備投資が底堅く推移しました。一方、海外においての設備投資は、総じて弱い動きとなりました。当社の主要顧客である造船業界においては、2020年から強化される海洋環境規制への対応に伴う工事が増加しましたが、貿易摩擦等の影響により新造船受注が低調に推移したことから、厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）の陸電供給システム及びLNG船、並びに機器製品（低圧遮断器等）が減少したものの、中国の船舶用システム製品及び海洋環境規制関連が増加したことにより、16,902百万円と前年同期比2.3%の増加となりました。営業利益は619百万円と前年同期比425.7%の増益、経常利益は804百万円と前年同期比54.3%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、550百万円と前年同期比26.8%の減益となりました。

なお、製品別の連結売上高は、システム製品（配電制御システム等）が9,053百万円と前年同期比6.7%の増加、機器製品が7,849百万円と前年同期比2.4%の減少となりました。

システム製品の連結受注高は、船舶用システム製品及び産業用システム製品（産業用配電制御システム等）の海外プラント向けが減少したことにより、前年同期を12.2%下回る9,186百万円となりました。連結受注残高は前連結会計年度末より133百万円増加し、17,273百万円となりました。

なお、機器製品は、計画生産を行っているため、上記受注高、受注残高には含めておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりです。

## 「日本」

船舶用システム製品は、海洋環境規制関連製品が増加したものの、陸電供給システム及びLNG船が減少したことにより、売上は前年同期と比べ減少しました。

産業用システム製品は、コージェネレーションシステム向け等が減少したことにより、売上は前年同期と比べ減少しました。

メディカルデバイスは、医療機器及び臨床検査機器ともに堅調に推移し、売上は前年同期と比べ増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、海洋環境規制関連工事及び産業向けエンジニアリング案件が堅調に推移し、売上は前年同期と比べ増加しました。

その結果、システム製品全体の売上は前年同期と比べほぼ横ばいとなりました。

機器製品は、国内向けはほぼ横ばいとなり、海外向けは東アジア地域が増加したものの、西アジア地域が減少したことにより、売上は前年同期と比べほぼ横ばいとなりました。

その結果、当セグメントの売上高は10,253百万円と前年同期比0.2%の増加、セグメント利益は509百万円と前年同期比538.0%の増益となりました。

## 「アジア」

船舶用システム製品は、堅調に推移し売上は前年同期と比べ増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、堅調に推移し売上は前年同期と比べ増加しました。

機器製品は、マレーシア国内向けが低調に推移したことにより、売上は前年同期と比べ減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は4,681百万円と前年同期比11.1%の増加、セグメント利益は474百万円と前年同期比21.6%の増益となりました。

「ヨーロッパ」

機器製品は、英国内でEU離脱に向けた先行き不透明感の影響があるものの若干増加し、西欧州及び中近東地域も堅調に推移したものの、為替の影響により売上は前年同期と比べ減少しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスの売上は、前年同期と比べほぼ横ばいとなりました。

その結果、当セグメントの売上高は1,966百万円と前年同期比5.0%減少したものの、セグメント利益は64百万円と前年同期比59.3%の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、たな卸資産が前期末比744百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が前期末比1,625百万円減少したこと等により、流動資産は前期末比697百万円減の31,873百万円となりました。固定資産では、投資有価証券が前期末比120百万円減少した一方、有形固定資産が前期末比350百万円増加したこと等により、前期末比152百万円増の12,331百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前期末比545百万円減の44,204百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金が前期末比433百万円増加した一方、電子記録債務が前期末比351百万円、未払法人税等が前期末比131百万円及び1年内返済予定の長期借入金が前期末比108百万円それぞれ減少したこと等により、流動負債は前期末比90百万円減の12,456百万円となりました。固定負債では、長期借入金が前期末比221百万円減少した一方、その他の固定負債が485百万円増加したこと等により、前期末比187百万円増の2,319百万円となりました。

その結果、負債合計は前期末比97百万円増の14,775百万円となりました。

純資産の部では、為替換算調整勘定が前期末比836百万円減少したこと等により、純資産合計は前期末比642百万円減の29,429百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ69百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には11,438百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,187百万円（前年同期は968百万円の収入）となりました。これは、主に売上債権の減少による収入1,117百万円及び税金等調整前四半期純利益851百万円、たな卸資産の増加による支出1,013百万円及び法人税等の支払による支出431百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は160百万円（前年同期は30百万円の支出）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出249百万円及び投資有価証券の売却による収入103百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は555百万円（前年同期は473百万円の支出）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出329百万円及び配当金の支払による支出182百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,368,165	11,438,069
受取手形及び売掛金	12,731,793	11,106,345
商品及び製品	3,631,439	3,646,956
仕掛品	2,496,588	3,421,037
原材料及び貯蔵品	2,090,174	1,895,168
その他	527,110	618,678
貸倒引当金	△274,752	△253,157
流動資産合計	32,570,519	31,873,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,468,460	8,392,523
減価償却累計額	△3,815,023	△3,911,147
建物及び構築物 (純額)	4,653,436	4,481,375
機械装置及び運搬具	6,218,285	6,102,246
減価償却累計額	△5,302,289	△5,275,490
機械装置及び運搬具 (純額)	915,995	826,756
工具、器具及び備品	7,661,228	7,693,510
減価償却累計額	△7,216,628	△7,309,463
工具、器具及び備品 (純額)	444,599	384,046
土地	2,734,440	2,706,199
リース資産	71,177	737,729
減価償却累計額	△66,802	△112,994
リース資産 (純額)	4,375	624,735
建設仮勘定	185,071	265,439
有形固定資産合計	8,937,919	9,288,553
無形固定資産		
その他	165,337	139,604
無形固定資産合計	165,337	139,604
投資その他の資産		
投資有価証券	419,252	299,189
退職給付に係る資産	2,069,610	1,993,008
繰延税金資産	356,779	381,199
その他	1,265,208	1,264,884
貸倒引当金	△1,034,690	△1,034,708
投資その他の資産合計	3,076,161	2,903,574
固定資産合計	12,179,418	12,331,732
資産合計	44,749,938	44,204,831

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,462,786	3,896,246
電子記録債務	3,194,492	2,843,008
短期借入金	480,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	1,952,380	1,844,380
未払法人税等	456,836	325,320
未払費用	1,752,682	1,673,875
製品保証引当金	77,072	73,038
その他	1,170,127	1,320,138
流動負債合計	12,546,377	12,456,008
固定負債		
長期借入金	907,360	685,670
繰延税金負債	417,503	336,928
退職給付に係る負債	517,746	522,646
その他	289,309	774,350
固定負債合計	2,131,920	2,319,595
負債合計	14,678,297	14,775,604
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,236,640	1,236,640
資本剰余金	2,244,650	2,244,650
利益剰余金	25,947,177	26,315,722
自己株式	△1,433	△1,433
株主資本合計	29,427,033	29,795,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,055	25,926
繰延ヘッジ損益	-	△3,087
為替換算調整勘定	△284,576	△1,121,107
退職給付に係る調整累計額	793,625	695,992
その他の包括利益累計額合計	607,104	△402,276
非支配株主持分	37,501	35,925
純資産合計	30,071,640	29,429,227
負債純資産合計	44,749,938	44,204,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	16,521,832	16,902,315
売上原価	12,229,791	12,432,230
売上総利益	4,292,040	4,470,085
販売費及び一般管理費	4,174,265	3,850,894
営業利益	117,774	619,191
営業外収益		
受取利息	59,802	68,423
受取配当金	6,710	8,010
為替差益	308,365	171,367
その他	61,810	43,704
営業外収益合計	436,688	291,505
営業外費用		
支払利息	10,887	18,083
貸倒引当金繰入額	21,804	-
デリバティブ評価損	-	87,486
その他	498	824
営業外費用合計	33,190	106,394
経常利益	521,273	804,302
特別利益		
固定資産売却益	208,910	222
投資有価証券売却益	-	80,239
特別利益合計	208,910	80,461
特別損失		
固定資産除却損	214	5,723
減損損失	-	27,594
特別損失合計	214	33,318
税金等調整前四半期純利益	729,969	851,445
法人税、住民税及び事業税	236,270	339,139
法人税等調整額	△257,377	△38,567
法人税等合計	△21,107	300,572
四半期純利益	751,077	550,873
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,861	△76
親会社株主に帰属する四半期純利益	752,938	550,950



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	751,077	550,873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,343	△72,129
繰延ヘッジ損益	△1,396	△3,087
為替換算調整勘定	43,188	△836,530
退職給付に係る調整額	△66,074	△97,633
その他の包括利益合計	△26,625	△1,009,381
四半期包括利益	724,451	△458,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	726,312	△458,430
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,861	△76

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	729,969	851,445
減価償却費	535,658	485,309
減損損失	-	27,594
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△64,215	△34,742
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	682	△24,101
引当金の増減額 (△は減少)	7,375	△6,003
受取利息及び受取配当金	△66,512	△76,434
支払利息	10,887	18,083
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△80,239
有形固定資産売却損益 (△は益)	△208,910	△222
売上債権の増減額 (△は増加)	1,315,479	1,117,488
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,139,546	△1,013,312
仕入債務の増減額 (△は減少)	83,928	527,616
その他	155,999	△227,448
小計	1,360,794	1,565,034
利息及び配当金の受取額	70,660	71,545
利息の支払額	△10,844	△18,330
法人税等の支払額	△452,290	△431,108
営業活動によるキャッシュ・フロー	968,319	1,187,140
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,141	△1,482
投資有価証券の売却による収入	-	103,832
有形固定資産の取得による支出	△288,199	△249,443
有形固定資産の売却による収入	280,949	450
その他	△22,452	△13,934
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,844	△160,577
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	880,000	1,010,000
短期借入金の返済による支出	△880,000	△1,010,000
長期借入金の返済による支出	△287,840	△329,690
配当金の支払額	△182,405	△182,405
その他	△3,695	△43,209
財務活動によるキャッシュ・フロー	△473,941	△555,305
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,549	△401,353
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	481,083	69,904
現金及び現金同等物の期首残高	11,768,619	11,368,165
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,249,703	11,438,069

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

当社グループの在外連結子会社において、国際財務報告基準第16号「リース」を第1四半期連結会計期間より適用しております。

これに伴い、借手としてのリース取引について、原則すべてのリースについて使用権資産及びリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しております。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置に従っており、過去にオペレーティング・リースとして分類していたリースについて、第1四半期連結会計期間の期首に使用権資産とリース負債を認識しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産が617,878千円、流動及び固定負債のその他が626,239千円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	アジア	ヨーロッパ	合計
売上高				
外部顧客への売上高	10,236,686	4,214,029	2,071,115	16,521,832
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,154,189	1,428,271	6,472	3,588,932
計	12,390,875	5,642,301	2,077,587	20,110,764
セグメント利益	79,881	389,980	40,526	510,388

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	510,388
セグメント間取引消去	40,710
全社費用(注)	△433,323
四半期連結損益計算書の営業利益	117,774

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	アジア	ヨーロッパ	合計
売上高				
外部顧客への売上高	10,253,828	4,681,779	1,966,708	16,902,315
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,369,842	1,840,676	6,999	4,217,518
計	12,623,670	6,522,456	1,973,707	21,119,834
セグメント利益	509,606	474,399	64,557	1,048,563

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,048,563
セグメント間取引消去	37,304
全社費用(注)	△466,676
四半期連結損益計算書の営業利益	619,191

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。